

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	食を起源とする短寿命分子種の生命基盤
研究代表者	内田 浩二 (東京大学・大学院農学生命科学研究科 (農学部)・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>食品に含まれる成分が体内で短寿命活性種として生体内で機能するというユニークな着眼点に基づく極めて独創性に優れた研究であり、分析技術の進展とともに新たな領域を切り開く可能性がある。応募者は、研究実績と展開力ともに優れていて、計画も実現が期待できるものとなっており、インパクトのある研究成果を上げることが期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当である判断した。</p>